
News Release

2024年6月4日

株式会社リコー

理化学研究所

リコーと理化学研究所、技術の実用化の兆しを察知する独自のアルゴリズムを開発 ～これまでのアルゴリズムを発展させ、 特許・技術論文に共通して出現するキーワードを多重解析～

株式会社リコー(社長執行役員:大山 晃)と、理化学研究所 数理創造プログラム(iTHEMS: Interdisciplinary Theoretical and Mathematical Sciences Program/青山 秀明客員主管研究員、相馬 亘客員研究員)はこのたび、過去に開発したアルゴリズムを応用し、特許と論文に共通して出現するキーワードを多重解析するアルゴリズムを開発しました。

本アルゴリズムは、大学や研究機関などのアカデミアサイドの研究が一段落し、企業などのビジネスサイドで事業化フェーズに移行しつつある技術を、「実用化の兆し」があるものとして捉え、実用化の兆しを数値によって判定することが可能となります。なお、本技術は特許出願済みです。

リコーと理化学研究所は2023年6月に、既存の技術文献データから新しいトレンドの変化点を定量的に測定し把握するアルゴリズムを共同研究により開発しましたが、その兆しが研究の黎明期にある兆しなのか、実用化に近づいている兆しなのかを定量的に判断することは困難でした。このアルゴリズムを応用した今回のアルゴリズムは、特許と論文に共通して出現するキーワードの増減パターンを座標解析によって判別することで実用化フェーズの察知を効率的に実現します。

近年、世の中の技術トレンドを網羅的かつ定量的に把握するため、データを活用したリサーチ手法の開発と活用が活発化しています。リコーでは本技術を活用したデータドリブンなリサーチへの取り組みにより、研究開発におけるテーマ探索活動に対する網羅性やスピードの提供を強化し、新たな研究テーマの探索と価値の高い知的財産の創出に貢献していきます。

■関連情報

技術の実用化の兆しを発見する手法

https://jp.ricoh.com/technology/tech/133_detect_indicators_of_practical_application_of_technology

新たな技術の兆しを発見する可視化手法

https://jp.ricoh.com/technology/tech/125_detect_indicators_of_emerging_technologies

リコーグループの知的財産への取り組み

<https://jp.ricoh.com/technology/rd/jp>

■関連ニュース

リコーと理化学研究所、文献データから技術トレンドの変化点を可視化する独自のアルゴリズムを開発

https://jp.ricoh.com/release/2023/0614_1

<研究に関するお問い合わせ>

リコーグループの技術に関するお問い合わせ

https://webform.ricoh.com/form/pub/e00114/technology_ing

<報道機関からのお問い合わせ>

株式会社リコー 広報室 TEL:050-3814-2806 E-mail:koho@ricoh.co.jp

理化学研究所 広報室 報道担当 TEL:050-3495-0247 E-mail:ex-press@ml.riken.jp